

第4回中四国 MIST 研究会 報告

2015年6月20日（土）に、岡山国際交流センター（岡山市）にて第4回中四国 MIST 研究会を開催いたしました。総勢69名のご参加をいただき、無事に終了いたしましたのでご報告させていただきます。

今回のテーマは、“やってみよう、見てみよう、みんなの MIST”。中四国地方の全県からご参加いただけたことは第4回にして初めてのことであり、大変うれしく感じております。

ミニレクチャーはハンズオンに対応した内容として、中西一夫先生（MIST 全般）、田中雅人先生（OLIF）、成田渉先生（みどりヶ丘病院、XLIF）、時岡孝光先生（MICEPS）の各先生方にコツや工夫、ピットフォールについてお話いただきました。講演内容がわかりやすかったとの声もいただいております。

特別講演では、小谷善久先生（製鉄記念室蘭病院 副院長）に「低侵襲脊椎安定化術（MIST）の最前線 - 脊柱変形から頸椎再建まで - 」と題してご講演をいただきました。最新の医療支援機器を使用した数多くのご経験をお話いただき大変勉強になりました。小谷先生には遠方からお越しいただいたにもかかわらず、講演が終わるとすぐにハンズオンでサポートしていただき、さらに症例検討会でも貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。



ハンズオン会場は、熱気にあふれ（部屋が人数に比して狭かったこともありですが・・・）、時間が終了しても皆さん器械から手を離さずにさわっておられる姿が印象的でした。経皮的椎弓根スクリュー（PPS）、側方アプローチによる手技（OLIF, XLIF）、頸椎における小侵襲手技（MICEPS）のうち、二つを選択していただきました。人数が多かったために、1人あたりの触れていただく時間

が短くなってしまったことをお詫び申し上げます。みどりヶ丘病院の成田渉先生、徳島大学の酒井紀典先生にもサポートしていただきました。この場をかりて御礼申し上げます。



症例検討会では、活発な意見交換がありました。いろいろな意見がでて、楽しい時間を過ごすことができました。当日ご参加下さいました先生方に厚く御礼申し上げます。また、研究会の企画・運営などサポートいただきました企業ならびに関係スタッフの皆様、岡山大学関連のスタッフの皆様、先生方にはこの場をかりて心より感謝申し上げます。まことにありがとうございました。



次回の第5回中四国MIST研究会は、中西一夫先生（川崎医大）が当番幹事となります。皆様方とまたお会いすることを楽しみにしております。

高知医療センター 時岡孝光
(文責) 荒瀧慎也